自然の中で非日常のリフレッシュ

紹介／常連サン！ ②

３月はじめ。この季節のキャンプはサイトもゆったりしていていいのです。２家族で栗の丘サイト占有気分。

４月の友だちキャンプ。佐久間さん（右）は奥の樹林にハンモック泊でした。

キャンプ歴20年（ブランク有）という埼玉県在住の40代の佐久間さん。年間に10日ほど「しもはじ埴輪キャンプ場」を利用しています。ほぼ月一の利用。今年も３月には家族キャンプ（写真上）、４月は友だちキャンプ（写真下）。そして６月初めにも友だちキャンプで来場。

この６月キャンプは、下の記事の台風６号のあとで、倒木の処理をお手伝いくださいました。

しもはじを利用する理由に「いろんな経験ができる」ことをあげてくださいましたが、まさに倒木処理まで参加してくださるという常連さんです。

しもはじのお勧めポイントに「林間サイト、芝生サイトがあり、好みに合わせて楽しめます」とあげてくれたように、家族キャンプは栗の丘に大型テントを立てて楽しみ、友だちキャンプでは樹木のサイトにハンモックで寝るという自在対応を楽しんでいます。

もともと自然が大好きという佐久間さん。キャンプの目的は「自然の中で非日常を味わい、リフレッシュするため」とのこと。その通り、存分にしもはじの自然を味わっているようです。

台風６号被害と倒木処理

栗の木も被害に

６月３日（水）に台風６号が関東南部を通過しました。未明からの激しい暴風は、台風の動きとともに東の風が徐々に北よりの暴風に変化しました。

その北よりの暴風に「栗の丘サイト」の栗の木２本と、林間サイトのスギ、ヒノキが計４本、コナラ１本が倒れてしまいました。もちろんキャンプ休業日でしたし、そんな中でキャンプをする方もいませんので人的な被害はありません。幸い、キャンプ場の諸施設への被害はありませんでした。

しかし、倒れた樹木は処理しなくてはなりません。

４日（木）には大和オーナーとスタッフ・エバちゃんが、２本のスギ・ヒノキを処理しました。チェーンソーで枝を払い、幹は薪にできるサイズに切断しました。また、居間森で樹木に引っかかったスギの倒木をバックホーンで落としました。

６日（土）には、大和オーナーと助っ人・ハラダさん、そして常連キャンパーさんが参加して、残っていた倒木をすべて処理。林間サイトはすべて利用可能となりました。

枝類はすべて破砕機でチップに粉砕。レモン畑の通路部に撒かれました。

台風の被害はありましたが、すばやい倒木処理でキャンプ場は問題なく利用できています。

林間のヒノキも倒れた